

学生イニシアティブ 事業計画書

健康科学大学 看護学部
災害看護学学生チーム DNST

事業のタイトル

考えようその1秒の判断

～あるものでできる応急手当訓練～



経緯/問題意識

【経緯】

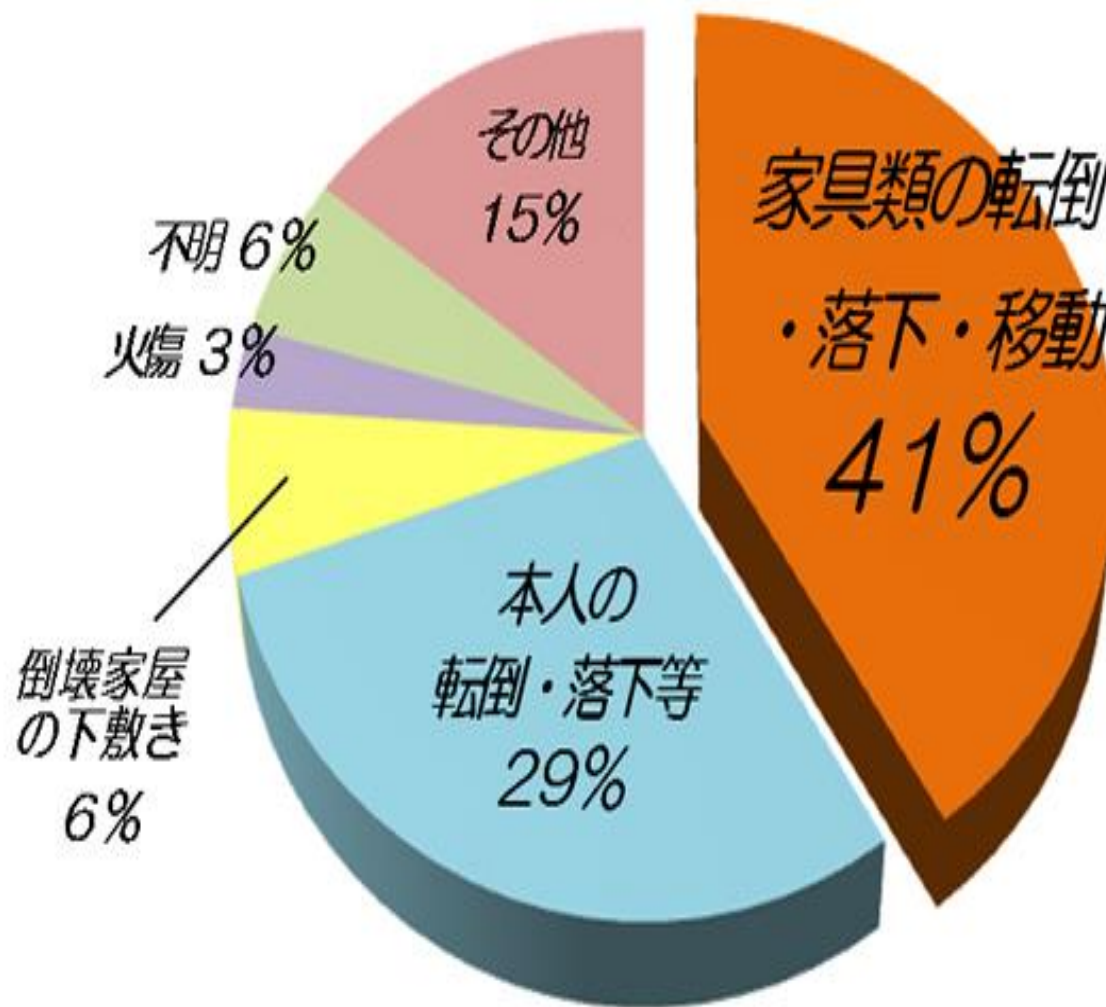
- 山梨県は災害発生時には、多くの被害が出る事が想定されるとともに、災害発生時には医療資源が不足する事が考えられる。
- 家庭にある身近にあるものを使い自分達でも行うことができる応急手当の方法を知って頂きたいと考えた。

【問題意識】

- 地震などの大きな災害発生時には医療の需要と供給のバランスが崩れ医療資源が不足することが考えられるため家庭にある身近なもので応急手当が行えるように技術を習得する必要がある
- 住民同士で不測の事態に対応する必要がある。

地震による負傷原因

東京消防庁の調査では、近年発生した地震の負傷原因のうち、家具類の転倒・落下・移動によるものは、なんと全体の3～5割を占めている。



参考文献：

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/camp/2015/201505/camp3.html>

目的/目標

【取り組みの目的】

- 家庭にある身近なものを代用した応急手当の手技を知ること
で、怪我の悪化予防・身体的苦痛の軽減につなげること。
- 家庭にある身近なもので出来る応急手当を知ってもらうこと。
- 二次災害の防止にも繋げること。

【達成すべき目標】

- 住民が頭部外傷の圧迫止血法、前腕外傷の固定法の応急手当の技術を習得することが出来る。
- 正しい応急手当の知識と技術を広める。

主な活動内容①

いつ：9/26（木）に実施

どこで：地域の公民館や学校のグラウンドなど

だれが：災害看護学学生チーム（DNST）メンバー

誰に：都留市の開地地区の住民

何を：

① 頭部外傷の止血法や、前腕外傷の固定法訓練

どのように：

- ① DNSTメンバーが、都留市の開地地区の方へサランラップや三角巾などを使用した実践的な応急手当の技術を説明しながらデモンストレーションを行う。
- ② DNSTメンバーが都留市の開地地区の方のもとを周り、応急手当の技術を練習してもらう。



主な活動内容②

いつ：10/16（水）に実施

どこで：地域の公民館や学校のグラウンドなど

だれが：災害看護学学生チーム（DNST）メンバー

誰に：都留市の三吉地区の住民

何を：

① 頭部外傷の止血法や、前腕外傷の固定法訓練

どのように：

- ① DNSTメンバーが、都留市の三吉地区の方へサランラップや三角巾などを使用した実践的な応急手当の技術を説明しながらデモンストレーションを行う。
- ② DNSTメンバーが都留市の三吉地区の方のもとを周り、応急手当の技術を練習してもらう。



タイムスケジュール

時刻	所要時間	項目	内容	備考
19:00～ 19:05	5分	導入		
19:05～ 19:25	20分	応急手当訓練（止血法）	・ 三角巾を用いた頭部止血法	デモンストレーションを行いながら、参加者の方に実施してもらう
19:25～ 19:45	20分	応急手当訓練（固定法）	・ ゴミ袋・サランラップを用いた腕の固定法	デモンストレーションを行いながら、参加者の方に実施してもらう
19:45～ 19:50	5分	準備・休憩		参加者の水分補給 等
19:50～ 20:00	10分	まとめ		全体を通してのまとめ・質疑応答 等
20:00	—	終了		